

俺は日出づる国の人間なのだ という誇りと精神を失うな！

引き続き私の過去のコラムからです。ここに訪問してくれる皆さんにとっては「いわずもがな」の内容だと思いますが、ごく普通の方を対象に書いた文なのでご容赦下さい。

▽[アルゼンチン](#)で邦字新聞「らぶらた報知」の編集長をしているのがジャーナリストの高木一臣氏だ。昭和26年、大学を卒業して26歳で[アルゼンチン](#)に渡ったときは当然だが[スペイン](#)語がうまく話せなかった。当時無一文の彼は無料の国立夜間学校に通っていた。その夜間学校での歴史の授業の話。

▽歴史の先生は「〇〇、前に出る」と教壇に呼び出して復習してきたどうかを確認していた。高木氏も呼ばれたが、その時先生は「日出づる国の生徒よ、前に出る！」と言った。

高木 「先生、日出づる国の生徒という呼び方はやめてください」。

先生 「何故だ」。

高木 「先生、[太陽](#)はもう落ちたのです。日本はもう日出づる国でなくなったのです」。

▽すると先生はこう言った。

「君は間違っている。日本が日出づる国であるのは、戦争に強かったからではない。日本はアジアで最初に西洋文明を取り入れて世界五大強国の仲間入りをした。西洋文明と東洋文明を統一して、一つの世界文明を創り上げる能力を持った唯一の国だ。この難事業をやり遂げたのは日本をおいて他にない」。

▽「日本がこの能力を持ち続ける限り、日本は日出づる国であるのだ。君は日本が戦争に負けたからといって、卑屈になる必要はごうもない。俺は日出づる国の人間なのだという誇りと精神を失わず、胸を張って歩きたまえ」。

▽異国の先生からこんな言葉を聞こうとは…。高木氏は、この時あふれる涙を抑えきれなかったという（生命の光平成14年2月号）。

▽なんという心温かで、しかも見識の高い言葉だろう。50年前のアルゼンチンの夜間学校の先生に、こんなにも日本のことを理解してくれる人がいてくれたということを感じたい。戦後の日本人は[GHQ](#)が押し進めた自虐史観に洗脳され、日本人としての誇りと自信をまったく失っていた。しかし、世界は冷静に見ていたのである（愛国心の教科書、渡辺毅著から）。

・この話、好きなんですよ(^_^)。

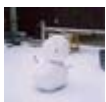
カテゴリ: [コラム](#) フォルダ: [指定なし](#)   

[コメント\(4\)](#)

タグ: [日出づる国](#)

コメント(4)

[コメントを書く場合はログインしてください。](#)



Commented by [ずずめめだかさん](#)

2008/08/25 22:17

「主婦から見た・・・」からやってきました。
いつも有意義なコメントとても勉強になります。

このアルゼンチンの話は知りませんでした。このように素晴らしいことこそ
小学校で教えて欲しいものです。

日本が誇りを持ち軍隊を持てば外国からなめられることも無くなると私は考えています。

今後はこちらのブログも楽しみにしています。



Commented by **花うさぎ** さん
To suzumemedakaさん

2008/08/25 22:44

いらっしゃいませ(^ ^)。

>このアルゼンチンの話は知りませんでした。このように素晴らしいことこそ小学校で教えて欲しいものです。

本当は彼女のブログに書き込んでも良かったのですが、文章が長いので遠慮してました。

>日本が誇りを持ち軍隊を持てば外国からなめられることも無くなると私は考えています。

そうですね。でも今の戦力でも日本人の覚悟があれば舐められることはありません。つまり日本人の意識次第でもあると思います。



Commented by **RAM** さん
hanausagi様、こんばんは。
「力まず・飛ばさず」
あとで息切れした時に、よけいにつらくなりますよ。(老婆心ながら…)

2008/08/25 22:55



Commented by **花うさぎ** さん
To RAMさん

2008/08/25 22:59

>「力まず・飛ばさず」

>あとで息切れした時に、よけいにつらくなりますよ。(老婆心ながら…)

ご指導感謝です。

あと二、三日でのんびり・ゆっくりムードに着地するつもりです(^ ^)。